

基本的な方向性

- * 地域による学校支援が中心となる「支援型」のコミュニティ・スクールから、学校・保護者・地域住民が子どもの教育課題を共有・協議し、具体的な改善に取り組む「連携型」のコミュニティ・スクールへ。
さらには、学校・家庭・地域が目指す姿の実現に向けて、それぞれが主体的で具体的な活動を重ねる「協働型」のコミュニティ・スクールを目指します。
- * 学校からの話題・報告・連絡が中心の「報告型」の学校運営協議会から、子どもや学校の抱える課題の改善に向けて知恵を出し合う「協議型」の学校運営協議会の定着を目指します。
- * 学校や地域の伝統や文化をはじめとする多様な「地域資源」(ヒト、モノ、コト、カネ)を積極的に活用して、「特色ある学校づくり」を進めます。
- * 地域全体で、子どもの教育をともに考え、学校教育活動への地域の参画を広げていくことで、学校を拠点とし地域住民がそれぞれの地域について共に考え、参画する「まちづくり」への発展に寄与していきます。
- * コミュニティ・スクールの取組や学校教育活動等について、積極的に情報発信し、保護者や地域住民の学校教育活動への理解と参加を広げます。

